

活力のある都市をめざして

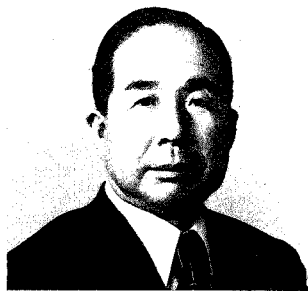
都留市長 高部 通正

あけましておめでとうござ
います。

希望に満ちた、輝かしい一
九八三年の新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

市政推進にあたりましては
常々市民の皆様の深いご理解
とご協力により、お蔭様で都
留市も着実な発展をいたして
おります。

私は、都留市がめざす都市
像として、「緑豊かなうるお
いのある明るいまち」をつく
るために、市勢の均衡ある発
展を基本理念として、市民に
「健康」「教育」「職場」を
保障することを三大目標と定
め、生活環境の整備、教育文

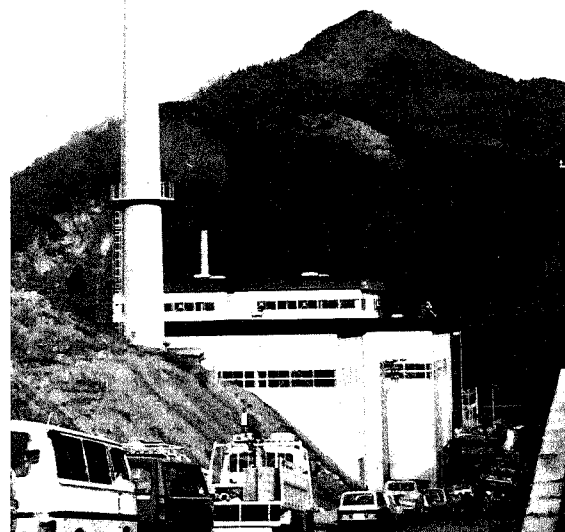


化の向上、福祉の充実、産業
の振興などの諸施策を強力に
推進しているところでありま
す。

昨今の厳しい財政事情の中
で、これらの計画を実施して
いくことについては、多くの
困難が予想されます。

しかし、市民参加を基調と
して、広く皆様方から建設的
なご意見をいただき、市民の
英知と創造を結集して市政執
行にあたる所存でありますの
で、何とぞよろしくご指導ご
協力のほどお願い申しあげま
す。

まず、活力に満ちたまちづ
くりのための基礎をなす、幹
線道路網の整備については、
市街地の交通緩和と地域開発
のため、国道一三九号線都留
バイパス建設、中央自動車道
富士吉田線四車線化に伴う都
留インターチェンジ建設と側
道の整備を推進し、早期完成
を促してまいります。



▲ 完成なったゴミ焼却施設

ましては、関係各位のご理解
とご協力をいただき、工事も
順調に進み、すでに昨年末に
完成いたしました。計画どお
り今月から試運転に入り、四
月から操業開始の予定であり
ます。

この施設は、県内では初め
ての流動床式焼却炉であり、
過去の施設のように周辺にバ
イ煙などの公害で迷惑をか
けることはなくなりません。

なお、昭和五十八年度には
粗大ゴミ処理施設の建設に着
手する予定であります。

市民の生活を守る水道事業
につきましては、将来の水需
要に対処すべく、昭和五十八

年度から三カ年計画をもって
第八期拡張事業を実施し、三
吉、開地地区の方々に、清浄
で安定した水の供給をはかっ
てまいります。

また、宝地区の大野簡易水
道を上大幡簡易水道に統合し
水源環境や水質問題の解決を
はかるよう計画を進めており
ます。

住宅の問題につきましては
井倉の九鬼団地に四カ年計画
をもって市営住宅の建設を進
めてまいります。

本年三月に一号棟を完成さ
せ、引き続き五十八年度には
二号棟二十四戸の建設に着手
する予定であります。

市民のくらしと安全を守る
消防防災体制の整備充実につ
いては、東海地震等大規模な
災害に対処するため、地域の
総合的な防災体制が重要な課
題であります。

このため、防火水槽、消火
栓の設置、老朽化した消防自
動車等の更新を順次実施して
いくと共に、防災資機材の備
蓄整備を図り、人命尊重を基
本とした防災体制の充実強化
に万全を期してまいります。

次に、市民の健康と生命を
守り、安心して生活のできる
医療体制を図ることは、都留
市にとって最大の懸案事業で
あります。

そのための市立病院建設に
つきましては、計画どおり昭
和六十年開院をめどに、つる
五丁目地内に建設するよう鋭
意努力をしております。

市民の福祉増進は、何とし
ても行政の中心課題でありま
す。

社会福祉が大きな転換期を
迎えた今日、これからは「市
民総参加による福祉づくり」
を強力に推進していかなけれ
ばなりません。

このため、福祉のまちづく
り事業として、「老人のしあ
わせの里づくり」「障害者の